

新中総第186号
令和2年6月26日

中央区自治協議会委員 各位

中 央 区 長

令和元年度中央区組織目標の取組結果及び
令和2年度中央区組織目標について（報告）

標記について、別紙のとおりご報告いたします。併せて選出母体等にお伝えくださいますようお願いいたします。

担当：中央区総務課課長補佐 佐藤哲哉
TEL025-223-1000 内線 37060

令和元年度 中央区組織目標

組織名	中央区	部長	中央区長 渡辺 東一
組織の目的・方向性	<p>中央区は、江戸時代から続く湊町としての歴史文化と商業機能や交通インフラをはじめとした都市機能が集積し、地域経済のけん引役としての機能を担っています。</p> <p>一方で、人口減少社会への対応、中心市街地の空洞化などの課題も抱えています。</p> <p>こうした課題に適切に対応するには、「自助、共助、公助」の理念のもと「協働」による取り組みが欠かせないことから、地域とともに課題解決に取り組む区役所を目指します。</p>		

中央区組織目標

組織の目的・方向性の実現に向け、中央区は今年度、次の3つの取り組みを重点的に実施します。

- 1 地域の活力を保ち、人口減少社会に対応します。
- 2 地域と協働して、安心安全な地域づくりを推進します。
- 3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	3
取組結果	1 地域の活力を保ち、人口減少社会への対応 (地域課) 地域活動に対して補助金の交付による資金的な支援を行いました。新規申請に対する取り組みについては、補助金の交付を通して活動の立ち上げを支援したことで、目標とする件数を達成することができました。 (健康福祉課) 地域住民が主体となって「赤ちゃん誕生祝い会」を開催し、多世代の住民との交流や、地域全体で子育て支援ができる環境づくりに取り組みました。「みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業」では、専門職による相談、仲間づくり、乳幼児の発達や関わり方を学ぶ講座を通し、参加者の育児不安を軽減することができました。また、産科医療機関との連携会議では、妊産婦支援の連携体制の必要性を確認することができました。			
	2 地域と協働した、安心安全な地域づくりの推進 (健康福祉課) 地域福祉推進フォーラムや地域別人生会議を行い、自らが希望する医療やケアを事前に意思表示することの大切さについて、理解を深めました。 (保護課) 積極的な就労支援を行うことで、生活保護受給者の事業への参加割合や就労開始者の増加につながりました。 こども勉強会は関係者や関係機関等と連携した結果、生活保護世帯以外からの参加者が増えました。 (建設課) まちなかの賑わい創出に向けて、市民が健康で元気に暮らせる健幸都市「スマートウェルネスシティ」(SWC)の実現や、誰でも気軽に楽しく利用できる道づくりを目的とした新潟西海岸賑わい創出プラン(ぐるりん新潟島)の整備を行いました。			

今後の方向性	<p>また、中央区の特徴である西海岸公園の海岸林については、地域や団体・有識者との協働の下で実施したクロマツの植栽を通して、防風対策などの必要性・重要性の理解を深めました。</p> <p>(総務課) ハイパージュニアレスキュー訓練については地域と学校と連携した訓練を実施したことで、災害時に率先した行動をとる重要について理解を深めました。</p> <p>3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりの推進</p> <p>(地域課) えんでこ(まち歩き)事業の参加者へのアンケート結果では、「区の魅力を再発見でき、地域に誇りを持てた」という回答が95.8%と高い割合になり、多くの方が地域への理解を深めました。</p> <p>(窓口サービス課) 派遣職員の導入により窓口に安定した人員配置が可能となったことや中央区オリジナル接客研修の実施などにより、窓口の接客アンケートでは高い評価をいただき質の高いサービスの向上につなげることができました。</p>
	<p>1 地域の活力を保ち、人口減少社会への対応</p> <p>(地域課) コミュニティ協議会や構成団体である自治会・町内会においては、地域課題解決に向けた活動や取り組みが活発に行われており、地域活動補助金による支援を通して、引き続き、各活動の新規立ち上げや継続に取り組めます。</p> <p>(健康福祉課) 「みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業」では、引き続き、専門職による母親支援と、妊娠期から乳児期に安心して子育てができる体制づくりに取り組むほか、事業へ参加できない保護者にも情報発信していきます。また、関係機関との緊密なネットワークを継続させながら、保護者に向けての取り組みを積極的に行うなど、児童虐待防止や児童福祉に係る子育て支援活動を継続していきます。</p> <p>2 地域と協働した、安心安全な地域づくりの推進</p> <p>(健康福祉課) 終活のきっかけづくりでは、もしもの時のために、自身が望む医療やケアについて、事前に考え、意思表示することの重要性について、ケアマネジャーなどの専門職や民生委員等を対象にした研修を行うとともに、区民向けの啓発に取り組めます。</p> <p>(保護課) 生活保護受給者の健康増進については、特定検診の受診率向上や生活習慣病の予防、重症化予防などに、引き続き取り組めます。</p> <p>(建設課) ぐるりん新潟島の整備については、利用促進に向けて距離標の設置に取り組むほか、駐輪対策については、駐輪マナーに関する啓発活動を行い、引き続き放置自転車の状況を把握するとともに、効果的な駐輪対策に取り組めます。</p> <p>(総務課) 災害に強い地域づくりを進めるため、市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう支援をしていきます。</p> <p>3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりの推進</p> <p>(地域課) えんでこ(まち歩き)については、さらに事業を充実させ、参加者の増加を図ります。</p> <p>(窓口サービス課) 窓口・業務改善活動を推進し、親切・丁寧・迅速・正確な窓口サービスに努め、市民満足度の向上を図ります。</p> <p>(出張所) 地域から寄せられる相談・要望等に対しては、今後とも丁寧に聞き取り、関係部署に取り次ぐなど適切に対応し、地域にとって身近で頼れる窓口となるよう努めていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7023(地域課)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	地域づくりのパートナーであるコミュニティ協議会の活性化を図り、協働することにより、安心してすやかに暮らせるまちの実現を目指すとともに、歴史や文化など区の魅力を再発見してもらい、シビックプライドの涵養を図ります。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
1	1	コミュニティ協議会が地域課題を解決するために行う活動を支援します。	・地域活動補助金による活動支援	コミュニティ協議会等に対する地域活動補助金の補助件数	44	44	50	50	45		・補助件数については、各団体において事業内容を精査等したことにより、目標達成には至りませんでした。新規の取り組み件数については、補助金の交付を通して活動の立ち上げを支援し、目標を達成することができました。	一部未達成
2	3	「まち歩き」を実施することにより、地域の魅力を再発見してもらいます。	・えんでこ(まち歩き)事業	「まち歩き」参加者数	769人	898人	668人	700人	597人	【2018実績】 ・35回開催 ・参加者 668人 ※スペシャル92人含 ・参加率 72.2%	・台風と新型コロナウイルスの影響により、全5回を中止としたため、参加者数の目標達成には至りませんでした。参加者へのアンケート結果では、「区の魅力を再発見でき、地域に誇りを持ってた」との回答が95.8%の高い割合となり、目標を大きく上回ることができました。	一部未達成
3		中央区だより1・2面に中央区の魅力に関する記事を掲載し、区民の関心の向上を図ります。	・中央区だより発行事業	区の魅力に関する記事掲載数	21	27	30	24	35	・2017年度及び2018年度は北前船遺産の連載記事により数を増やすことができました。 ・2019年度は、「区の魅力」に関する取材記事を毎号1記事掲載する目標値とします。掲載数は前年度実績より減少しますが、区の歴史や区民活動などを取材し、より充実した内容の記事を目指します。	・区民活動などを取材し、「区の魅力」に関する記事を毎号1件以上掲載しました。その結果、当初の目標を上回る件数の記事を掲載することができました。	達成
4		中央区の伝統的産業である「新潟漆器」「発酵食」「古町芸妓」についての認知度向上や産業的観点からの利用促進に取り組むことで、産業の振興を図ります。	・新潟漆器利用促進事業 ・味噌づくりカリキュラム ・料亭の味と芸妓の舞 ・古町芸妓によるPR事業	実施店舗から把握したニーズの反映件数	-	-	-	1	1		・新潟漆器:漆器貸出店舗からの意見や要望を聞き取り、商品製作に反映させることができました。 ・発酵食:小学校でのみそ作り体験を行うとともに、家庭へのアンケートを通じ、児童だけでなく保護者にも、区内の発酵食について知ってもらい、消費につなげることができました。 ・古町芸妓:目標は未達成でしたが、古町芸妓自らが「料亭の味と芸妓の舞」のPRに出向いたり、古町の料亭以外の場所で舞を披露するなど新たな取り組みを行いました。	一部未達成
				事業実施後の区内製造発酵食購入者増加率(%)	-	-	-	10.0	13.0			
				料亭の味と芸妓の舞への30代以下の参加割合(%)	7.5	8.0	6.4	10.0	7.9			

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
コミュニティ協議会が行う地域課題解決への取り組みを促し支援することで、コミュニティ協議会の活性化を図ります。「まち歩き事業」を実施することにより、区の宝物(魅力)を再発見してもらい、シビックプライドの涵養を図ります。行政情報を的確にお伝えするとともに、中央区の魅力や地域活動を積極的に発信することにより、区民が区に誇りを持つ意識を醸成します。伝統的産業への取り組みについては、切り口を変えながら、魅力再発見の場を提供し続けることで、認知度を上げ、消費に繋がっていく取り組みを行っていきます。	コミュニティ協議会や構成団体である自治会・町内会において、地域課題解決に向けた活動や取り組みが活発に行われており、地域活動補助金による補助を通して、引き続き、各活動の新規立ち上げや継続を支援していきます。えんでこ(まち歩き)については、台風や新型コロナウイルスの影響で、提案型まち歩きやスペシャルえんでこ等が中止となりましたが、実施した回では、多くの参加者から「区の魅力を再発見できた」との回答をいただき、区民のシビックプライドの涵養につなげることができました。来年度は、さらに事業を充実させ、参加者の拡充を図ります。区の魅力に関する記事については、地域における活動を積極的に取材し、毎号1件以上の記事を掲載することで、区の多様な魅力を伝えることができました。今後も引き続き、区の魅力発信に努めます。伝統的産業の振興は、「新潟漆器」、「発酵食」、「古町芸妓」について、これまでの取り組みに加え、小学校でのみそ作り体験や古町芸妓による新たな取り組み等により、認知度向上や消費につなげることができました。今後も、関係者とともに効果的な手法を考え、伝統的産業のさらなる振興を図っていきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7106(窓口サービス課)

年度	2019		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	窓口サービス課
組織の目的	窓口・業務改善活動を推進し、親切・丁寧・迅速・正確な窓口サービスに努め、市民の満足度を向上させます。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
1		窓口サービス提供における市民満足度の向上を図ります。	・窓口アンケートの実施	年2回実施の窓口アンケート年平均点	4.37	4.39	4.42	4.3	4.53	・5点満点 ・参考:30年度実績 第1回 4.43 第2回 4.41	アンケート結果を項目別にみると、全項目で昨年度を上回ることができました。また、これまで低評価だった「案内表示」が区役所移転当初の3.93から直近では4.37となり、0.44上昇しており、改善を積み重ねてきたことが評価されてきています。	達成
2		職員の接客能力の向上を図ります。	・中央区オリジナル接客研修の開催 ・人材育成担当部署が主催する接客研修の受講	年2回実施の窓口アンケート「接客態度」に関する項目の年平均点	4.57	4.62	4.58	4.5	4.67	・心理学・カウンセリングの技術を活用した接客・クレーム対応研修を引き続き実施	第1回(7月)4.63、第2回(12月)4.70、年間平均点4.67で、目標値を上回ることができました。中央区オリジナル接客研修では、中央区職員58人が受講し、中央区全体の接客能力の向上を図りました。研修の効果として、接客態度に気をつけている受講生の割合が研修前後で比較すると43.8%から95.5%に増加しました。	達成
3		職員の業務能力の向上を図ります。	・本課や課内で実施する研修の受講ほか	具体的な業務知識の習得を目的とした研修会等の受講者数				220	664	・1人あたり2回以上の研修等を受講	職員として基礎的なものから専門的な知識を習得することを目的としたもので1人2回以上の研修を受講することができました。特に、課内の支援体制を円滑にするために係を越えた研修の実施については、業務の効率化に有効でした。	達成
4		窓口・業務改善活動を推進します。	・各係と改善チーム等がそれぞれ3件以上の改善を実施 ・派遣職員の導入	改善件数		13	25	24	30	・窓口サービスの向上を目指し、更なる業務改善の実施	各係及び改善WGで窓口サービスに向けた改善に努めた結果、目標を上回る30件の改善を実践することができました。繁閑に応じた窓口の変更や住民異動届繁忙期の混雑緩和を目的とした広報の拡充など効果的な改善を行うことができました。また、派遣職員の導入により、窓口配置する人員が安定したことで、混雑を緩和することができました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
窓口職場として「市民満足度の向上」を目的に、「市民の視点」を重視して目標設定を行ないました。窓口アンケートや意見箱等により市民ニーズの把握に努め、窓口・業務改善活動を推進し、窓口サービスの向上を図ります。窓口のさらなる利便性向上のため業務処理能力や接客のスキルアップに取り組めます。	窓口アンケートについては、派遣職員の導入により窓口に安定した人員配置が可能となったことや中央区オリジナル接客研修の実施などにより、全項目の年平均点が4.53、「接客態度」に関する項目の年平均点が4.67となり、目標を達成しました。窓口・業務改善活動では、各係で改善項目を抽出し、業務効率化や事務漏れ防止を目的とした改善を実践しました。また、繁忙期対策として、係間の連携・支援体制の強化、繁閑に応じた窓口変更・広報の拡充などの取組みにより、窓口の混雑緩和を図りました。令和2年度においても、フロア2層という特性を踏まえ、改善活動を推進することにより、2階と4階の連携を深め、さらなる市民満足度向上に努めます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7252(健康福祉課)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月30日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	赤ちゃん誕生お祝い会開催	地域との交流が持てた人の割合		7	8	80%	44%	開催団体数は9団体 2018年度までの実績は開催団体数	一部未達成	
			「はなそう・つなごう・あなたの想い終活きっかけづくり事業」 ・高齢者が人生の最期まで希望する医療やケアを意思表示する重要性について意識啓発を実施	意思表示の重要性について理解した人の割合				80%	98.3%	研修会「地域別人生会議」(地域福祉フォーラム1回+5日常生活圏域各1回)でアンケートを実施		アンケート結果 ・地域福祉推進フォーラム 回答:334人 理解した人の割合 99% ・地域別人生会議 回答:218人 理解した人の割合 98.2%
			障がい者への理解をより深めるため地域住民や職員を対象に周知啓発を実施	共生のまちづくり条例への理解度				80%	100%	研修参加者にアンケートを実施		アンケート結果 回答:21人 ・理解が深まった 17人(81%) ・理解がやや深まった 4人(19%) ・理解が深まらなかった 0人(0%)
2	2	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上及び糖尿病予防に取り組みます。	・60～64歳までの特定健診未受診者に健診の重要性周知のためのリーフレットを郵送し看護職による家庭訪問や電話による受診勧奨を実施	受診勧奨実施数				1,400	1,981	未受診者のリーフレット送付数 電話・訪問勧奨数	達成	
			・糖尿病予防セミナーの開催 ・まちなか健康フェスティバルの開催 ・まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター中 央子(なか ちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発	・糖尿病予防セミナー参加者の講座の理解度 HbA1c・疾病について理解できた割合				80%	98.7%			・糖尿病予防セミナーの参加率は66.7%(80人)だったが、開催目的としているHbA1c・疾病については98.7%以上が理解できたと回答。
				・まちなか健康フェスティバル参加者のHbA1cについて理解できた割合				80%	86.5%			・糖尿病予防イベント「まちなか健康フェスティバル」を11/10(土)に開催し、来場者300人超にアンケートを実施した。
				・まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター中 央子(なか ちかこ)」等の活用回数				5回	23回	まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター中 央子(なか ちかこ)」等の活用 ・受診勧奨リーフレット ・区だよりでのまんが啓発 ・横断幕をエスカレーターに掲示 他		・H30年度に作成したまんがキャラクターを活用し、区だより1面でオリジナルマンガの掲載、横断幕やちらし、封筒、ティッシュ、各種資料等でキャラクターを活用し健診受診勧奨・糖尿病予防の啓発を行った。

No.	部 区 組 織 目 標	組 織 目 標	主 な 取 組 (事 業)	指 標						目 標 達 成 状 況	評 価	
				項 目 (単 位)	2016実 績	2017実 績	2018実 績	2019目 標	2019結 果			補 足・参 考指 標
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	「みんなでつながるにっこに子育て応援事業」 ・妊カフェ・育カフェ・育ばる ・10か月育ちの講座 ・子育てネットワーク会議、産科との連携会議の開催	・妊カフェ・育カフェ・育ばる参加者の参加後の気持ちの変化 育児不安が軽減した割合				80%	妊カフェ93.0% 育カフェ93.1% 育ばる84.5%	育ばる(新規事業)	・妊カフェ、育カフェ参加者のアンケートでは、参加後育児不安が軽減した割合が妊カフェ93.0%、育カフェ93.1%、育ばる84.5%で目標を達成できた。	一部未 達成
				・10か月育ちの講座参加者の講座内容の理解度 10か月の発達・今後の発達の見通しについて理解できた割合				80%	100%	10か月育ちの講座(新規事業)	・10か月育ちの講座のアンケート結果より、10か月児の成長・発達について知ることができた、関わり方を知ることができた人の割合は「できた」「まあまあできた」をあわせて100%であり、目標を達成することができた。	
				産科の連携会議回数				2	1	産科の連携会議(新規事業)	・第1回産科連携会議を10/29に開催。全7医療機関が参加し、妊産婦支援の現状や課題を共有することができた。2回目は3/6開催予定だったが、中止となった。	
		・関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童福祉に係る啓発活動の実施(研修・講座・会議等)	・啓発活動の実施回数				10	11	関係機関職員、児童保護者、市職員等を対象に、児童虐待防止や児童福祉に係る啓発活動を実施	・関係機関職員等対象の研修・講義(6回)、児童保護者対象の講座(1回)、市民向け啓発及びノベルティ・冊子の配布(4回)	達成	
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	・6つの係がそれぞれ3件以上の改善を実施	・窓口業務にかかる改善件数	27	32	21	18	30		・連絡便送達管理簿の作成 ・窓口までの点字ブロックの延伸 ・出簿簿を支払い事業別に色分けし、事務処理効率化 他	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる地域づくりを目指して、引き続き地域住民が主体となった支え合い・助け合い活動を支援します。具体的には、地域で開催する赤ちゃん誕生お祝い会を支援し、赤ちゃん誕生を機に、地域の子育て中のママ・パパ同士だけでなくそのほかの地域住民との多世代の交流を深めます。お祝い会参加をきっかけに地域との交流が持てたか追跡調査するとともに自発的な活動につながるよう支援します。</p> <p>また、障がい者への理解及び交流を深め、また障がい者への差別を解消する取り組みの拡がりを目指し、地域住民等を対象とした研修会を開催します。また高齢者が事前に自らが意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるため、まずその必要性を伝えるための市民啓発を医療や介護などの関係機関と協働し実施します。</p> <p>保護者の子育ての不安を軽減し孤立化を防ぐため、妊娠期から乳児期に安心して子育てができる体制づくり及び保健師・助産師などの専門職による切れ目ない支援を地域の子育て支援施設や医療機関と連携・協働して行います。また、関係機関職員や児童保護者等を対象とした児童虐待防止や児童福祉に係る子育て支援啓発活動を実施します。</p> <p>健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診勧奨の実施、糖尿病予防セミナー、まちなか健康フェスティバルを引き続き開催します。また、まんがキャラクター「中央区の健康づくりサポーター 中央子(なか ちかこ)」等を活用した受診勧奨及び糖尿病予防啓発に取り組みます。</p>	<p>・地域住民が主体となって「赤ちゃん誕生お祝い会」を開催し、多世代の住民との交流や、地域全体で子育て支援ができる環境づくりに取り組みました。</p> <p>・自らが希望する医療やケアを事前に意思表示することの大切さについて、地域福祉推進フォーラムや地域別人生会議を行い周知、啓発を図りました。来年度は、ケアマネジャーなどの専門職や民生委員等を対象に引き続き研修を行うとともに、区民向けの啓発を行います。</p> <p>・「みんなでつながるにっこに子育て応援事業」では、専門職による相談、仲間づくり、乳幼児の発達や関わり方を学ぶ講座を通し、参加者の育児不安を軽減することができました。また、産科医療機関との連携会議では、妊産婦支援の連携体制の必要性を確認することができました。引き続き、専門職による母親支援と、妊娠期から乳児期に安心して子育てができる体制づくりに取り組み、事業へ参加できない保護者にも情報発信を行います。</p> <p>・今後も、関係機関との緊密なネットワークを継続させながら、保護者に向けての取り組みを積極的に行うなど、児童虐待防止や児童福祉に係る子育て支援活動を継続していきます。</p> <p>・特定健診の受診率向上の取り組みは、3年目となり、41歳～65歳の2年連続未受診者へ受診勧奨リーフレットを送付し、保健師等による家庭訪問を実施しました。来年度は健診受診率が最も低い寄居中学校区を重点地区とし、受診勧奨を実施します。</p> <p>・区の健康課題である糖尿病予防については、血糖有所見者を対象に「糖尿病予防セミナー」を3回1コースで4回開催、一般区民を対象にNEXT21のアトリウム会場で「まちなか健康フェスティバル」の開催、まんがキャラクターによる啓発に取り組み、多くの方に糖尿病予防、HbA1cの理解を図ることができました。来年度もさらに内容を検討及び新たな関係機関との連携を図り、幅広く糖尿病予防の啓発を行います。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 東地域保健福祉センター(025-243-5312)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	東地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月30日

No.	部 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標			2019結果	補足・参考指標
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	・地区組織の会議および地区組織が実施している事業に出席し、健康講座や地区の課題に関する話し合いを行います。	実施回数	6	19	20	21	24	・昨年度実施できなかった地区に積極的に働きかけて、地区組織の会議や事業に出席して実施する。	・民生委員協議会、地域の茶の間、自治会、コミ協、学校保健委員会などで健康寿命延伸等地域の課題を共有し健康教育を行った。昨年度より活動の場を開拓した。	達成
			・「はなそう、つなごう、あなたの想い終活きっかけづくり事業」高齢者が人生の最期まで希望する医療やケアを意思表示する重要性を意識啓発します。	意思表示の重要性について理解した人の割合				80%	100%	・中央区健康福祉課、地域包括支援センターと連携し、市民や医療福祉関係者を対象に包括圏域で1回実施する。	・包括支援センターや医療介護連携ネット(えき〜ちかネット)と共催し区づくり「終活きっかけづくり事業」の人生会議を一回開催した。参加者の49人、うちアンケート回答46人の理解度は「よくできた」「まあできた」合わせて100%であった。	
2	2	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上及び糖尿病予防に取り組めます。	・40～64歳の、29年度30年度未受診者に受診勧奨リーフレットを送付し、特に優先度の高い60代前半の区民および家族を中心に家庭訪問や電話による受診勧奨を行います。	受診勧奨数(人)		167	175	180	268	・今年度は60代前半を中心に、訪問或いは電話により、家族も含めて受診勧奨し、必要時は健康相談を受ける。	・未受診者への訪問を197人に実施。うち面接60人チラシ配布58人と、集団検診で150人に受診勧奨し、あわせて268人に実施した。ほか、保健師活動のあらゆる機会をとらえ計467人に特定健診の受診を勧奨した。	達成
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	・児童虐待やDV予防のためのより良い支援ができるようセンター主催の検討会を実施します。	検討会実施回数	35	35	37	38	39	・センター職員の検討会の他に、必要時間関係者に出席いただく個別の検討会も含む。	・センター内でのケース検討を毎月行い、区レベルや個別のケース検討を行った。あわせて母子事業後に定例で個別ケース検討も実施。センター内ケースは全体の共有と課題分析を行い、支援方法について話し合った。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組めます。	窓口申請や相談、保健業務に関する改善を実施します。	改善実践数(延べ件数)	3	3	3	3	3	・センター内で改善策を話し合い実施する。	・申請別窓口台帳の作成、窓口、電話対応個票の作成、窓口対応の所内研修を行った。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>住み慣れた地域で、一人ひとりがお互いに助け合いながら、健やかでいきいきと心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の組織と連携し、助け合いの地域づくりを支援し、健康寿命延伸の講座や、終活に関する意識啓発の講座、話し合いを実施します。 ・健康寿命延伸のため、自らの健康状態を知る特定健康診査の受診者が増えるよう、主に60代前半の区民を中心に受診勧奨します。 ・児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待、DV、自死を予防するため、関係機関と連携してネットワークを作り、より良い支援策を検討し、支援を必要とする対象者に個別支援を行います。 ・市民の視点に立ち、窓口申請や各種相談業務、保健業務を改善し、サービス向上を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターや圏域の医療介護連携ネット(えき〜ちかネット)と協働し、地域のケアマネジャーなど専門職に対して、ACPの理解を深め、地域への普及を考えていただく機会として「地域別人生会議」を開催しました。参加者は積極的に理解を深め、今後の支援と普及につなげたいという声が多くあり、継続的な取り組みが期待されました。 ・健康寿命延伸のために、健康診査の未受診者に受診勧奨チラシを作成送付し、家庭訪問も実施して家族も含めて受診勧奨しました。保健師活動(家庭訪問、集団検診、健康教育、健康相談等)の中で機会を持ち、受診勧奨を行いました。あわせて医療機関訪問や地区組織への受診勧奨依頼も実施し、地域をあげて健康づくりへの意識の向上を働きかけました。 ・都市部で多い児童虐待を予防するための育児支援に取り組みました。高齢者虐待予防、DV予防、自死予防に取り組み、センター内でモニタリングも含めた検討会を実施し、特に問題が複雑なケースにおいては状況判断して関係者会議を実施し、より良い支援方法を検討し実施しました。また、積極的にケース検討を実施することにより、職員の支援スキルの向上につなげました。 ・地区組織の会議や集いにも出席し、健康講座を実施し、話し合い、見守りの地域づくりを支援しました。 ・当センターを利用する市民のための業務改善策を話し合い、3件実施しました。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 南地域保健福祉センター(025-285-2373)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	南地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月26日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていける環境づくりを進めます。	・お茶の間の健康教育 ・関係機関との学習会や連携会議 ・コミ協健康づくりの取組支援 ・コミ協と連携し新たな活動の拠点づくり	保健師が健康教育・相談を実施するお茶の間の割合			65.0%	75.0%	75.0%	・管内のお茶の間や高齢者が集う場所は28か所(H31.3月末)。 ・新たな場に保健師が出向き、地域の健康課題と介護予防の重要性を周知し、主体的に健康づくりに取組む市民を増やす。	・管内のお茶の間21か所で健康教育を実施し、目標の75%は達成できた。また、コミ協、自治会等でも健康教育を実施し、地域住民に健康課題を周知し、健康寿命延伸及び介護予防に取組めるように支援した。	達成
			「はなそう・つなごう・あなたの想い終活きっかけづくり事業」 ・高齢者が人生の最期まで希望する医療やケアを意思表示する重要性について意識啓発を実施	研修会「地域別人生会議」の意思表示の重要性を理解した人の割合	-	-	-	80.0%	98.5%	・地域別人生会議(新規事業) ・2日日常生活圏域で開催(地域包括支援センター鳥屋野・上山、山潟)	・センター管内の2日日常生活圏域で人生会議を開催し、参加者アンケートでは、意思表示の重要性を理解した人の割合は、目標を大きく上回った。(鳥屋野・上山圏域:100%、山潟圏域:97%)	達成
2	2	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上及び糖尿病予防に取り組みます。	・特定健診未受診者に訪問し受診勧奨 ・依頼健康教育 ・茶の間や市民が集う場で健康課題の周知と受診勧奨 ・糖尿病セミナー受講者の継続支援 ・特定保健指導の個別・集団実施	糖尿病セミナー受講後の相談会の実施回数	0	0	0	3	3	・糖尿病セミナーの受講者が継続して生活習慣・検査値の改善に取組むことができるように新たに相談会を開催する。	・計画通りに、糖尿病セミナー受講後の相談会を3回開催し、継続して生活改善に取組めるように支援した。また、相談会に欠席した人には、電話で取組み状況を確認し、継続支援を実施した。	達成
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	・支援を必要とする妊産婦への訪問・相談・医療機関と連携 ・育児相談会、窓口随時相談 ・育児不安者、要経過観察児への訪問・相談 ・のびのび育ちの会 ・子育て支援センターでの育児講座 ・公民館事業への協力 ・赤ちゃん誕生お祝い会への参加	のびのび育ちの会未利用者のケース検討実施回数	0	0	0	4	4	・のびのび育ちの会は、幼児健診から発達面で経過観察が必要な親子が適切な支援方法を学ぶ場であるが、H30の参加率は35.7%。	・計画通りに、1歳6か月健診からの経過観察事業「のびのび育ちの会」対象者のケース検討会を4回実施し、母子への支援方法を検討し、職員の資質向上につながった。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	窓口申請や相談に関する改善を実施し支援の質を向上させます。	OJTによる研修会の開催 困難ケースの検討会実施数			研修会 5回	研修会 8回 検討会 6回	研修会 8回 検討会 7回	・主要な窓口業務についてOJTで研修を行い係員が迅速・正確に窓口対応ができるようになる。 ・相談来所者が適切な支援に繋がるように検討会を行う。	・計画どおりに、窓口業務の研修会を8回、検討会を7回実施し、職員の窓口申請及び相談支援の資質向上につながった。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地域で助け合い、誰もが安心して健やかに暮らせる地域づくりを推進します。</p> <p>地域包括ケアシステムの推進では、コミ協や自治会、支えあいのしくみづくり推進員と連携しながら、研修会や連携会議を開催し、市民・地域が主体的に介護予防と健康づくりに取組み健康度の高い地域づくりに取り組んでいきます。また高齢者が事前に自ら意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるよう、医療や介護などの関係機関と協働し市民啓発を実施します。</p> <p>成人・高齢者の健康づくりに関しては、積極的に健診を受診し健康管理できるように様々な場面で啓発・勧奨し受診率を向上を図ります。また、血糖有所見者が検査値を改善し重症化予防していくために個別支援できる体制を新たに作り直します。</p> <p>出生数が多く、転勤族で支援者がいない等、子育て支援は重要です。妊娠前から支援の必要な方には訪問や相談を行い、出産後も、相談したいときに気軽に相談し支援を求められるよう、各種母子事業を市民視点で見直し改善していきます。</p> <p>窓口業務や相談の質を向上させるために研修会や検討会を行います。</p>	<p>・地域の茶の間やコミ協等の健康教育を実施し、地域住民に健康課題を周知し、健康寿命延伸及び介護予防に取組めるように支援を行いました。</p> <p>・区づくり事業「はなそう・つなごう・あなたの想い終活きっかけづくり事業」は、1年目であり、地域包括支援センターと連携し「地域別人生会議」を開催することができ、参加者の理解度も高く、「ACPの大切さを考えるきっかけになった」という感想も多数ありました。来年度は引き続き、区民への啓発及び専門職への研修を実施し、ACPの正しい理解及び地域で広めるための人材育成に取り組めます。</p> <p>・健康寿命延伸の取組みとして、中央区の課題である糖尿病予防について、相談会の開催や欠席者への電話フォローを実施し、継続して生活改善に取組めるように支援しました。</p> <p>・出生数の多い管内であり、ケース検討を通して、職員の子育て支援の資質向上を図りました。</p> <p>・市内で最も窓口件数の多い地域保健福祉センターであるため、幅広い窓口申請及び相談に対応できるように研修会やケース検討を実施しました。引き続き、市民の視点でサービス向上できるように研修を継続していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 中央地域保健福祉センター(025-266-5172)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	中央地域保健福祉センター
組織の目的	一人ひとりがお互いに支えあい・助け合い、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくりを推進します。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
1	2	だれもがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしているよう、高齢者世帯や子育て世代、障がいのある方など支援が必要な方に対して、地域が一体となって支え合い、共に生きていく環境づくりを進めます。	・「はなそう・つなごう・あなたの想い 終活きっかけづくり事業」 ・中央地域保健医療福祉連絡会議で研修会を行い、高齢者が人生の最期まで希望する医療やケアを意思表示する重要性について意識啓発を実施します。	・研修会「地域別人生会議」で意思表示の重要性について理解した人の割合(%)	-	-	-	80	97	・地域別人生会議(新規事業) ・2日常生活圏域で開催(地域包括支援センター・ふなえ、関屋・白新)	・中央地域保健医療福祉連絡会として、地域別人生会議を2日常生活圏域(寄居・新潟柳都、関屋・白新)で開催。専門職に加え、民生委員やコミ協から参加があった。 ・参加者合計80人 ・「意思表示の重要性について理解した人」の割合は、寄居・新潟柳都圏域は94%、関屋・白新圏域100%だった。	達成
2	2	健康寿命延伸にむけて、特定健診の受診率の向上及び糖尿病予防に取り組みます。	・管内の公立中学校の養護教諭と連携し、生徒の保護者(40歳代～50歳代)を対象に、特定健診及びがん検診のPRを実施します。	・保護者に対し、中央区の健康課題の情報提供と特定健診及びがん検診のPRを実施した校数	-	-	1	4	4	・H30年度は寄居中学校区の養護教諭と連携し、保護者会で健康課題を説明・特定健診及びがん検診PRを実施。欠席者にも養護教諭や学級担任・生徒を通じて、資料を配付。 ・H31年度は寄居中の他、関屋、白新、新潟柳都中学校の養護教諭と連携し実施。 ・生徒数:4校で約1,100人 ・毎年1回小中学校の養護教諭との連絡会を開催。	・管内公立4中学校の養護教諭と連携し、校内にポスター掲示やPTA総会・保護者会で特定健診及びがん検診のPRを実施した。欠席者にも養護教諭や学級担任・生徒を通じて、資料を配付。4校でのPRチラシ配付数950部 ・寄居中学校では、学年別保護者会と学校保健委員会で保健師が説明。 ・関屋中学校では給食試食会で、有明台小学校では学校保健委員会で保健師が説明。 ・11月の小中学校養護教諭連絡会で今年度の振り返りをし、次年度計画を話し合った。	達成
3	2	子育ての不安、負担の軽減を図るため、学習機会の提供や仲間づくりを支援するとともに、児童虐待防止に向け、関係機関と協働で啓発活動を行います。	・中央地域保健福祉センター及び入舟健康センターの定例日育児相談について、子育て中の母親が利用しやすいよう一層の周知を図ります。	・定例日育児相談の利用者数(延数)	320	380	320	330	382	・定例日育児相談は管内2会場で、いずれも毎月1回実施。 ・中央センター会場も、31年度は利用しやすい午前中の時間帯に変更。 ・入舟健康センターは新北部コミセン内に7月移転予定。会場案内を入れた育児相談日程表を、股関節検診等で配付。 ・管内の年間出生数:約310人	・定例日育児相談は、股関節検診等で個別にPRし、管内2会場とも、前年度に比べ1歳児についての利用が増加。7月に移転した新北部コミセンのPRも併せて行うことで、入舟健康センター会場の利用が倍増した。	達成
4		市民の視点で業務改善を推進し、市民サービスの向上に取り組みます。	・窓口申請や保健福祉相談業務に関する改善を実施します。	・窓口業務にかかる改善件数	-	2	2	2	2	・センター内で改善策を話し合い、実施。	・窓口相談員を中心に検討し、前期・後期各1件の窓口改善を行った。前期は、自立支援医療や特定医療費等の申請手続きの記入例を作成。後期は、待合に相談・支援機関情報コーナーを新設し、包括支援センターの広報誌等の情報を掲示した。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>地域包括ケアシステムの推進のため、高齢者や障がいのある人が、地域の中で助け合いながら健やかに暮らせる地域づくりに取り組み、また高齢者が事前に自ら意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ安心して暮らし続けられるよう、医療や介護などの関係機関と協働し市民啓発を行います。</p> <p>健康寿命延伸のため、自らの健康状態を知る特定健康診査やがん検診の受診者が増えるよう、中学校養護教諭等と連携し、40歳代～50歳代の人に健康課題の説明や健診PRを行います。</p> <p>少子化や育児の孤立化が進む中、支援を必要とする母親が安心して子育てできるよう、保健師等専門職に相談できる場を周知し、一人ひとりがきめ細かな支援を行います。</p> <p>常に市民の視点に立ち、窓口申請や保健福祉相談業務の改善に取り組み、サービス向上に努めます。</p>	<p>高齢者が人生の最終段階の医療やケアについて事前に自ら意思表示することの重要性を啓発する人生会議を、2日常生活圏域で開催し、専門職の他、民生委員やコミ協関係者の理解を深めることができました。</p> <p>健康寿命延伸のため、中学校の養護教諭と連携し、40歳代～50歳代の保護者に向けて特定健診やがん検診のPRを実施しました。次年度は、引き続き小中学校の養護教諭と連携し、保護者に向けて特定健診・がん検診のPRを行います。</p> <p>育児の孤立化が進む中、支援を必要とする母親が安心して子育てできるよう、乳幼児を持つ母親に保健師等専門職の相談の場をPRし、育児相談の周知を図ることができました。今後は、個別に支援内容を検討して、関係機関と連携協力しながら一人ひとり、より適切な支援を行ってまいります。</p> <p>窓口相談員も市民サービスに必要な研修を積極的に受講し、職員全員が市民目線で窓口申請事務の改善や、子育て支援情報や相談機関情報の周知・活用に努めました。今後も窓口業務の改善に取り組んでまいります。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7340(中央区保護課)

年度	2019		
組織名(部)	中央区	組織名(準部・課・機関名)	保護課
組織の目的	市民生活の礎となる「安心・安全な暮らし」を最終的に保障する、セーフティネットとしての生活保護制度を適切に運営することを通じて、被保護世帯の自立に向けた支援の充実強化を図ります。 また、職場内に課内グループを編成することで、業務が適正かつ円滑に遂行できるよう、全職員一体となって取り組んでいきます。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
1		生活保護世帯の就労意欲の向上を図り、就労に結びつけていきます。	生活保護世帯からの掘り起し ・就労支援相談員との連携 ・ハローワーク職員との連携	就労自立支援事業の対象者数(人) (うち就労準備事業対象者※H27から)	240 (7)	240 (15)	244 (12)	240 (13)	230 (13)	・求職指導中の生活保護受給者について就労支援プログラムへの参加を促します。対象者は約1,100人です。 ・就労が困難な方については就労準備事業への参加につながるよう支援します。事業受託者はH30が2か所です。 ・就労支援プログラム参加者の約半数が就労開始できるようハローワークと連携して取り組みます。	求職や増収を指導している生活保護受給者は857人です。 そのうち就労自立支援事業参加者は217人、就労準備事業参加者は13人でした。事業に参加した方の割合は26.8%で、前年度より1.1%増加しました。 就労自立支援事業参加者217人について、就労を開始した方は158人、72.8%です。就労を開始した割合は前年度と比べ19.4%増加しました。 ケースワーカーや就労支援員が事業への参加を積極的に働きかけるとともに、個別の相談に同席するなどハローワーク職員と連携し、就労開始に向け重点的に取り組みました。	一部 未達成
				就労自立支援事業の援対象者から就労を開始した人数(人)	-	-	124	120	158	【参考】 新潟労働局もメンバーに入っている「生活保護受給者等就労自立促進事業運営協議会」の目標値 ・H31対象者 210人 ・ハローワークコーナーでの就労開始目標人数 141人		
2		生活保護世帯(生活困窮世帯及びひとり親世帯を含む)の中学生の学習習慣を定着させ、学力向上を図ります。	「こども勉強会」の開催 ・学習支援員による家庭訪問実施	「子ども勉強会」の参加対象者に対する参加生徒の割合(%) ※H28までは参加生徒数(人) 学習支援員による家庭訪問実施回数	20 人	33.3	49	50	48	・生活保護受給世帯の中学生は47人です。 ・広報紙を活用するほか、家庭訪問により積極的に参加を促進します。	生活保護受給世帯の参加者は22人でした。そのほか生活困窮者世帯から4人、ひとり親世帯から18人が勉強会に参加しています。 また、家庭訪問1回、個別相談13回により相談を行いました。	一部 未達成
					12	9	6	10	14	【参考】 H27年度から生活困窮世帯の中学生、H30年度からひとり親世帯の中学生も参加しています。		
3		生活保護世帯の健康課題を明らかにし、健康増進に努めます。	・特定健診の受診率増加	特定健診の受診率(%)	-	16.4	18.3	18	15.3	・40歳以上75歳未満の生活保護受給者は約2,200人です。 ・受診の結果、治療が必要と判断された受給者に対し治療を促すなど、重症化予防に取り組みます。	対象者2490人のうち受診者は381人の見込みです。でした。(令和2年1月末現在) 受診の結果、数値に異常がみながら未治療の方9人について健康管理支援員により指導を行いました。	未達成
4		保護を必要とする市民の生活保障を図ります。	・事務の適正化 ・他法他施策の活用	年金受給開始者の割合(%)	-	-	-	100	100	・年金加入状況調査を進め、年金受給可能と考えられる方は、受給できるよう支援します。 ・支援の結果受給困難な方は、対応を課内で検討し、方針を決定します。 ・受給可能な未受給者 62名	調査の結果年金受給可能と考えられた96人のうち71人が受給手続きを行いました。残り25人についてケース検討会議を行い対応方針を決定しました。(令和2年1月末現在)	達成
5		保護を必要とする市民の生活保障を図ります。	・事務処理の効率化	14日以内に決定した新規申請者の割合(%)	74	89.9	90	90	84	生活保護法第24条では、保護の可否等の決定通知は、原則として14日以内とし、特別な理由がある場合は30日以内と定めています。	新規申請389件のうち325件について保護の可否を決定し、そのうち申請後14日以内の決定は84%でした。 ホームレスや救急搬送による申請など、慎重かつ丁寧な調査を要する申請が増えています。	未達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
生活保護世帯に対し、就労による経済的自立(就労自立)のみならず、自分自身で健康・生活管理を行うなど日常生活において自立した生活を送ること(日常生活自立)、地域社会の一員として充実した生活をおくこと(社会生活自立)などの自立を支援し、生活保護世帯の抱える多様な課題に対応できるよう、関係機関とも連携をしながら、積極的に取り組んでいきます。	就労自立支援事業については、参加者が目標数に達しませんでした。就労や増収を指導している生活保護受給者の事業への参加割合及び就労開始者は前年度よりも増加し、積極的な就労支援が結果につながりました。 こども勉強会は生活保護世帯以外からの参加者が増え、会場やボランティアなど課題はありますが、関係者や関係機関等と連携し、工夫しながら運営します。 生活保護受給者の健康増進については、被保護者健康管理事業が令和3年1月から必須事業として施行されることから、特定健診の受診率向上や生活習慣病の予防や重症化予防など、引き続き取り組みます。 そんなほか、生活保護における事務についても適正で効率的な執行に努めます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7403(建設課)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	建設課
組織の目的	様々な施設が集積する拠点として都市機能の向上を図るとともに、利用者の視点に立った、利便性が高く、安心・安全に暮らせる、快適で住みよい賑わいあふれるまちづくりを推進します。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部 区 組織目 標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実施	2018実施	2019目標	2019結果			補足・参考指標
1	3	自転車道を活用し、健幸都市「SWC」の実現や、歴史・文化などの観光資源も相互作用させながら、誰でも気軽に楽しく利用できる道づくりに努めます。	・ぐるりん新潟島の実施設計策定(全延長 L=2,200m) ・整備延長(L=500m)	整備延長 L=460m	整備延長 L=520m	整備延長 L=500m	整備延長 L=680m	整備延長 L=680m	・中央区区ビジョンまちづくり計画(道路空間の健幸プラットフォームの構築) ・ぐるりん新潟島(新潟島一周自転車道)の改良)	当初計画通り、整備を推進し供用開始することができた。	達成	
2	3	西海岸公園の海岸林について、防風対策などの必要性・重要性を周知し、海浜植物園周辺に地域や団体・有識者らと協働でクロマツの植樹を行います。	・植栽計画作成 全体N=4900本 ・植栽本数 N=800本	土壌調査 計画策定	クロマツ植栽 800本	クロマツ植栽 800本	クロマツ植栽 800本	クロマツ植栽 900本	・モデルエリアとして事業実施した市営夕見台住宅跡地の継続事業	地域や団体・有識者との協働の下、当初予定の800本の他、関係団体から100本の寄付をもらい900本の植樹を行うことができた。	達成	
3		速やかなサービス提供と事業効果の早期発現を図ります。	・工事の早期発注 ・委託業務の早期発注	第2四半期発注率(%)	81	90	90	80	89	・当初箇所付作業の発注率	当初の目標を上回る発注を行うことができた。	達成
4		安心・安全で快適な道路空間を確保するため、自転車利用者に対し自転車等駐車場への誘導を行い、駐輪マナーの向上・路上駐輪の削減を図ります。	・啓発活動の実施 ・利用実態調査	啓発活動の実施回数(回)	10	10	10	10	19		当初の目標を上回る啓発を行うことができた。	達成
5		効率的に業務推進し区民サービスを向上させるべく、職員の担当業務はもとより各担当以外の業務の専門知識、技術力、説明能力を高めます。	・課内勉強会の実施	開催回数(回)	-	-	-	8	10	・各係年2回以上(8回/年)	勉強会を開催することにより、関係職員の情報共有及び技術力の向上を図った。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>まちなかの賑わい創出に向けて、市民が健康で元気に暮らせる健幸都市「SWC」の実現や、誰でも気軽に楽しく利用できる道づくりを行い、区の魅力のアピールに努めるとともに、超高齢社会への対応や安心・安全に暮らせるまちづくりを推進していきます。</p> <p>そのような中で、新潟島一周自転車道(ぐるりん新潟島)の整備や、各種自転車政策を推進していくことにより、歩きやすく安全なまちなかの歩行空間確保に努めていきます。</p> <p>また、中央区の特徴である西海岸公園の海岸林については、防風対策などの必要性・重要性を市民に周知し、引き続き海浜植物園周辺に地域や団体・有識者らと協働でクロマツの植樹を行い、海岸林の保全に努めていきます。</p> <p>工事・委託などの発注については早期に発注することにより、速やかな情報・サービス提供と事業効果の早期発現に努めていきます。</p> <p>駐輪対策については、安心・安全で快適な道路空間を確保するため自転車利用者に対し自転車駐車場への誘導を行い、駐輪マナーの向上・路上駐輪の削減を図ります。</p> <p>課内勉強会等の開催により、職員の担当業務はもとより担当以外の業務に係る専門知識・技術・説明力を高め、幅広い視点をもって効率的に業務推進し、区民サービスを向上させます。</p>	<p>まちなかの賑わい創出に向けて、市民が健康で元気に暮らせる健幸都市「SWC」の実現や、誰でも気軽に楽しく利用できる道づくりを目的として新潟西海岸賑わい創出プラン(ぐるりん新潟島)に基づき、整備が完了しました。次年度は、路面標示の再設置を行います。</p> <p>また、中央区の特徴である西海岸公園の海岸林については、地域や団体・有識者との協働の下でクロマツの植栽を行ったことにより、防風対策などの必要性・重要性の理解が深まりました。引き続き、海岸林の保全に努めていきます。</p> <p>工事・委託など早期発注については当初の目標を達成することができました。次年度以降も引き続き職員意識の醸成を図りながら取り組んでいこう努めていきます。</p> <p>駐輪対策については、駐輪マナーに関して啓発活動を行いました。引き続き、放置自転車の状況を把握し、効果的な駐輪対策を行います。</p> <p>区民サービスの向上については、課内勉強会を開催し、課内での情報共有や市関係課との連携強化を図ります。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-7086(総務課)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	災害に強い地域づくりを進めるため、現実の災害時に市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくり、コミュニケーションづくりを支援します。 中央区サービス憲章に基づき、わかりやすく、親しみやすい区役所を目指して改善に取り組みサービスの向上を図ります。		

作成日	平成31年4月1日
修正日	
評価日	令和2年3月31日

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
1	2	避難所運営訓練を通じ、中学生、地域、防災士の連携を強化します。	中央区ハイパージュニアレスキュー訓練	(H29まで)参加者人数 (H30から)参加した中学生へのアンケートで防災意識を調査し、「災害時に率先して行動する」を選んでもらう。	92(人)	107(人)	95%	80%	95%	・地域防災力向上のために中学生に期待される役割を明示し、災害時には率先して行動するよう説明する。	市体育館での開催:96% 寄居中学校での開催:95%	達成
2	2	避難行動要支援者と支援者の顔の見える関係づくりを推進します。	中央区避難行動要支援者関係づくり事業を通じて、顔の見える関係づくりを推進	啓発品交付決定要援護者人数(人)	465	502	671	670	410	・支援者へ情報提供している避難行動要支援者数4,489人(H30.10.1現在)	新規関係づくり実施自治会・町内会 35団体 新規交付要支援者 380人	未達成
3		中央区サービス憲章に基づく業務改善の推進に取り組みます。	中央区オリジナル研修の実施	研修受講者へのアンケートで中央区への理解が深まった職員の割合				80%	97%	【研修テーマ】 ・中央区新任職員研修 ・中央区新採用職員研修 ・文書実務研修 ・区長随行研修 ・メンタルヘルスセミナー		達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>中学生を中心とした中央区ハイパージュニアレスキュー訓練を行う際に、防災士や地域の防災リーダーに指導役として参加してもらい、それぞれが地域の主体となって防災に取り組むことができる体制づくりを進めます。さらに多くの生徒に受講してもらうため、今年度は個別の中学校を会場としてその学校のカリキュラムの一環で実施する方式も検討しました。、30年度と同じく、「災害時に率先して行動する」という意識を持つ中学生参加者の割合を指標とします。</p> <p>避難行動要支援者対策では、支援者と要支援者の顔の見える関係づくりを推進し、災害に強い地域づくりを進めています。</p> <p>中央区役所職員が一体としてまた継続して改善に取り組めるように、職員の中央区への理解を深め、さらには職員間の連携を進められるような研修を実施します。</p>	<p>ハイパージュニアレスキュー訓練については目標を大きく超える回答となりました。個別中学校での試行開催も好評であったため、本格的に実施することとします。引き続き取り組んで意識の浸透を図っていくこととします。</p> <p>避難行動要支援者への関係づくり事業は低い達成率となりましたが、新年度は啓発品を変更するなど工夫して、支援者と要支援者の関係づくりが進むよう取組みます。</p> <p>中央区新任職員研修において新たにグループワークを取り入れ、職員間の連携を図れるよう工夫したため、中央区への理解が深まったと回答した職員が多くなりました。引き続き、効果的な研修を計画し実施していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-241-4111(東出張所)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	東出張所
組織の目的	出張所では、市民の皆さんの日常生活に密接に関わる行政サービスを提供していますが、丁寧で親切な対応をモットーに、迅速で間違いない窓口対応を行うとともに地域コミュニティの支援に努めます。		

作成日	平成31年4月27日
修正日	
評価日	令和2年3月27日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標			2019結果	補足・参考指標
1		窓口対応における市民満足度の向上を図ります。	接遇の質の向上に努めます。 ・研修の参加 ・係内での勉強会の開催	市民アンケート満足度調査の平均点	4.47	4.38	4.46	4.4以上	4.55	・5点満点の平均点	目標を0.15ポイント上回りました。	達成
2		事務処理能力の向上を図ります。	窓口事務や内部事務の改善に取り組みます。 ・専門研修への参加 ・内部事務の見直し	各係1件以上の窓口業務にかかる改善の実施(件数)	4	4	4	3	3	・3つのグループがそれぞれ1件以上の改善を実施	主なものだけで6件の改善を実施しました。 (地域G)貸付団体向けに鍵ボックスを設置し、窓口での鍵の受渡し事務をなくしました。 (市民G)統合端末マニュアルを簡潔で見やすくしました(当出張所用クイックマニュアルの作成)。 (厚生G)基本的マニュアルを整備見直しました。など	達成
3		地域コミュニティの支援を行います。	地域の会合などに積極的に参加し、情報の収集や支援に努めます。 ・総会などへの参加 ・江東コミ協連絡会の支援	各地域団体の行事等への参加(件数)			年29件	年25件以上	年26件	・江東コミ協連絡会 ・万代地域コミ協、南万代地区コミ協、沼垂小学校区コミ協、長嶺地域コミ協 ・新潟まつり江東地区実行委員会 ・東新潟ミセン運営委 ほか	各地域団体への行事等へ26件参加し、情報収集や信頼関係の構築に努めました。	達成
4		地域の問題解決を支援します	随時寄せられる相談・要望について的確に対応する	地域からの相談・要望等で相談者が納得していただいたもの(件数)	年11件	年14件	年14件	年14件	年14件	・各コミ協からの相談・要望 ・困って窓口相談に来られる方への対応	14件の地域からの要望や相談があり、関係部署に取り次ぐなど、丁寧かつ適切に対応しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
出張所は市民サービス窓口の最前線であることから、接遇のスキルを上げ、更なる市民満足度の向上を目指します。また、地域コミュニティの行事等に積極的に参加することで支援を行い、地域の皆さんが心安く相談できる窓口づくりに努め、相談に対する的確な対応を行います。	<p>・市民アンケート満足度調査では、前年度と比べ0.09ポイント上回りましたが、今後とも研修会等への積極的な参加や各グループ内での連携・情報共有など、職員のさらなるスキルアップと接遇の向上に努めます。</p> <p>・事務改善については、マニュアルの作成・見直し、書類の保管方法の変更など、日常的に業務の効率化に取り組んでいきます。</p> <p>・地域への支援については、コミ協をはじめとする各団体の会合及び親睦会等へ積極的に参加することによって、地域の実情の把握や意見交換等を通じ、信頼関係の構築に努めていきます。</p> <p>・地域から寄せられる相談・要望等に対しては、今後とも丁寧に聞き取り、関係部署に取り次ぐなど適切に対応し、地域にとって身近で頼れる出張所となるよう努めていきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-283-0406(南出張所)

年度	2019		
組織名(部)	中央区役所	組織名(準部・課・機関名)	南出張所
組織の目的	市民の身近な窓口として、正確、親切、丁寧なサービスを提供するとともに、地域コミュニティの醸成に寄与します。		

作成日	平成31年3月13日
修正日	
評価日	令和2年3月26日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
1		身近な行政の窓口として市民満足度を高めます。	・満足度調査(窓口アンケート)	満足度調査の平均点(点)	4.4	4.4	4.2	4.3		・5点満点の平均点	窓口アンケートを11/12から11/22まで実施しました。満足度の平均値は、4.4となり目標値を0.1ポイント上回り、目標を達成しました。	達成
2		地元との信頼関係を深め、地域コミュニティの醸成に寄与します。	・地域団体が行う会議や行事への参加 ・地区コミュニティ協議会連絡会の開催 ・市、区が共催する行事等への参加	会議や行事等の参加または開催した回数(回)	58	58	50	50		・校区コミュニティ協議会 7 (連絡会 1) ・地区民生委員児童委員協議会 7 (連絡会 1) ・消防団中央方面隊分団 2 ・地区PTA連絡会 1	管内のコミュニティ協議会等の会議・行事を中心に参加しましたが、例年開催されていた会議出席の依頼がなかったこともあり、参加回数が48回と目標回数を下回りました。	一部未達成
3		窓口事務や内部事務の簡便性・適法性・正確性・効率性を高めます。	・窓口事務、内部事務の点検と改善	窓口事務、内部事務の改善件数(件)	8	8	11	6		・所内の窓口数 3 (①地域 ②市民 ③厚生)	窓口アンケートでいただいたご意見も参考に窓口環境の整備を中心に改善を行い、目標件数を上回りました。また、収納誤りの防止策として収納処理の見直しを行いました。	達成
4		職員の専門能力を高めます。	・専門研修 ・区の主催する研修 ・他出張所との交流研修	職員1人当たりの研修受講回数(回)	6.6	8.6	5.7	4.0		・研修対象職員数 17 (正職員 12、嘱託職員5)	研修回数は、職員1人当たり3.8回と目標を下回りましたが、正職員だけでなく非常勤職員も積極的に参加し、窓口対応に活かしました。目標件数を下回った原因としては、参加当日、本人の体調不良などにより急遽欠席となった研修が重なったことにあります。	一部未達成
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
住民から愛され信頼される職場づくりを目指し、市民の目線に立った業務運営に取り組みます。そのために、出張所の基幹業務である窓口での各種手続きで市民満足度を向上させること、及び地域活動の活性化に資することを目標とし、日常的な事務改善及び職員の専門能力の向上に取り組めます。	窓口対応を円滑かつ正確に行うため、窓口カウンターの周辺、記載台を中心に使い勝手がよくなるよう整備しました。また、収納誤り防止のため収納処理手順等の見直しを行いました。コミュニティ協議会をはじめとする地域の諸団体と連携し、会議や行事への参加を通じて、地域の状況把握と行政情報の提供を行いました。 窓口アンケートに寄せられた意見の中に「区役所でできる業務と出張所でできる業務の違いがわかりにくい」「待合スペースが狭く動きにくい」「申請用紙がわかりにくい」との指摘があったことを受け、区役所・出張所の業務一覧表を貼りだし、待合スペースについては、できるだけ座ってお待ちいただき、待ち時間のストレスをできるだけ感じないようにレイアウトを工夫、変更しました。また、申請書の記載例については、よりわかりやすいものに見直し、作成しました。

令和2年度 中央区組織目標

組織名	中央区	部長	中央区長 日根 秀康
組織の目的・方向性	<p>中央区は、江戸時代から続く湊町としての歴史文化と商業機能や交通インフラをはじめとした都市機能が集積し、地域経済のけん引役としての機能を担っています。</p> <p>一方で、人口減少社会への対応、健康寿命の延伸、中心市街地の活性化などの課題も抱えています。</p> <p>こうした課題に適切に対応するには、「自助、共助、公助」の理念のもと「協働」による取り組みが欠かせないことから、地域とともに課題解決に取り組む区役所を目指します。</p>		

中央区組織目標

組織の目的・方向性の実現に向け、中央区は今年度、次の3つの取り組みを重点的に実施します。

- 1 地域の活力を保ち、人口減少社会に対応します。
- 2 地域と協働して、安心安全な地域づくりを推進します。
- 3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。



みんなでつながる にっこにこ子育ての応援（育カフェ・妊カフェ）



豊照体育館でのマルシェ

えんでこ（まち歩き）

ハイパージュエルスクー講習会

中央区各課主要事業及び特色ある区づくり事業（抜粋）

1 地域の活力を保ち、人口減少社会に対応します。

- しもまち地域の活性化（主要事業 5,000 千円・地域課）
- 赤ちゃん誕生お祝い会の支援（区づくり 550 千円・健康福祉課）
- みんなでつながるにっこにこ子育ての応援（区づくり 4,686 千円・健康福祉課）
- アトリウム発にぎわいプロジェクト（区づくり 1,200 千円・総務課）

2 地域と協働して、安心安全な地域づくりを推進します。

- 話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り（区づくり 1,234 千円・健康福祉課）
- 糖尿病の予防の推進（区づくり 2,000 千円・健康福祉課）
- 生活保護受給者の特定健診受診率向上（保護課）
- 路上駐輪の対策（区づくり 1,409 千円・建設課）
- 犯罪のない地域づくり（区づくり 440 千円・総務課）
- 防災人材育成・地域づくりへの支援（区づくり 4,829 千円・総務課）
- 西海岸公園松くい虫の防除（主要事業 81,651 千円・建設課）

3 自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。

- 地域のお宝！再発見（区づくり 2,743 千円・地域課）
- 北前船がもたらした伝統的産業のPR（区づくり 3,800 千円・地域課）
- とやの物語<NEXT STORY>（区づくり 3,300 千円・窓口サービス課）
- 区民協働森づくりの推進（区づくり 5,309 千円・建設課）
- 中央区オリジナル接遇研修の開催（窓口サービス課）
- 地域団体が行う会議や行事への参加（東出張所・南出張所）